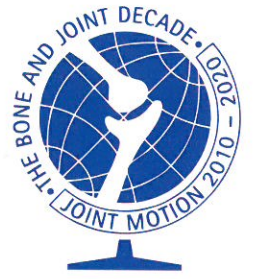


Moving

運動器の健康をサポートする
フリーマガジン

Vol.13 2014 Summer



「運動器の10年」世界運動

動く喜び 動ける幸せ

「運動器」とは、骨・関節・筋肉・靭帯・腱・神経など、身体を支えたり、動かしたりする器官の総称です。

子どもは野球界の宝。 ひじ肩検診、けがをしにくい投球を



巻頭インタビュー「私と運動器」

工藤公康

元プロ野球投手・野球解説者

甲子園大会で注目を浴び、プロでも活躍し続けた工藤公康さん。引退後は、子どもから大人まですべての世代の人々が、楽しく野球を続けるために、さまざまな活動を行っている。今回、けがや故障を予防する方法を中心にお話を伺いました。

だれにも才能がある。野球をやる自由もある。ふと、どんぐりマナコに愛情が満ちる。野球少年の話になると、ぼくらの、永遠のヒーロー、工藤公康は父親の顔になるのだ。「自分の子が宝」というのは当たり前。額に汗を浮かべ、「でも」と言う。

「野球界にとって、野球をやってくれる子どもは宝なんです。彼らがやらなかったら、野球界はなくなる。けがをなくして、大人が子どもに夢を見させてあげないといけないんです」
悲しいかな、多くの野球少年がひじや肩を壊している。6月某日被災地の福島県いわき市で開いた野球教室の時もそうだった。グラウンドの隅で右腕に白いギプスを付けた小学生の男の子を見つけた。「どうしたんだ?」
「僕、ちょっとひじが痛くて」
「手術したのか?」
「はい」
「しっかり治せよ」
もう工藤は悔しくて、泣きたくなった。ちゃんとひじをケアしていたら、いや負傷がもっと早く見つかっていたら…。小声になる。
「あと1年早く、オレに会ってれば、と思います。威張った感じに聞こえるかもしれませんが」
プロ野球の西武、ダイエー、巨人、横浜で30年間もピッチャーとして活躍してきた。3年前、48歳で引退。野球解説者として活動す